

2013/ 2014/
11/23. - 3/9.

2013年度
コレクション展



〈小企画〉

Okuda Yoshimi

奥田善巳展

展示室 1



1. 奥田善巳
《CO-684》
1992年
兵庫県立美術館蔵

〈特集〉 コレクション名品選

Selected Masterpieces
from the Collection
美術の
始まる
ところ

展示室 2 「人生を愛でる」*A

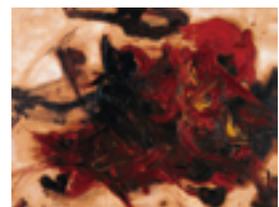
展示室 3北 「新たな道を求めて」*B

展示室 3南 「社会の中の芸術家」*C

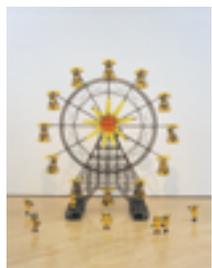
展示室 4 「内なる世界へ」*D



*A
4. 金山平三
《父の像》
1924年



*B
7. 白髪一雄
《作品1》
1958年



*C
10. ヤノベケンジ
《FERRIS WHEEL》
2007年



*D
12. ジェームズ・アンソール
《骸骨としての自画像》
1889年

展示室 5

20世紀の彫刻／安藤忠雄コーナー

小磯良平記念室

金山平三記念室

展示室 6

日本の近現代絵画

〈小企画〉 奥田善巳展

〈特集〉 コレクション名品選 美術の始まるどころ

2013年度コレクション展IIIでは、小企画として「奥田善巳展」を開催します。奥田善巳（1931～2011）は、京都府出身で、長らく兵庫県で活動していた美術家です。彼の絵画の大作20点を、天井高の高い展示室1を使って紹介します。

また、展示室2～4では、「美術の始まるどころ」と称し、芸術家が作品をつくる動機に焦点を当てます。身近なものに抱く親愛の情、作り手としての探求心、社会における芸術家のあり方、そして自己と向き合う芸術家の深層の4つのテーマに従い、油彩画、版画、写真、彫刻など当館の魅力溢れる作品群をご紹介します。

神戸ゆかりの洋画家、小磯良平と金山平三の記念室、さらに20世紀の彫刻／安藤忠雄コーナーとあわせてお楽しみください。

Okuda Yoshimi

奥田善巳展



〈小企画〉は、常設展示室の一角を使った企画展。所蔵作品に外部からの借用作品を加えることで、テーマ性を持った展示を行います。〈特集〉では、特定のテーマにしたがって所蔵作品を展示し、美術鑑賞に新しい視点を打ち出します。

会期等

2013年11月23日（土・祝）～2014年3月9日（日）

休館日：月曜日

※11月25日（月）、12月23日（月・祝）、1月13日（月・祝）は開館

12月24日（火）、1月14日（火）は休館

※年末年始およびメンテナンス休館：12月30日（月）～1月10日（金）

開館時間：10:00～18:00

※特別展開催中の金・土曜日は夜間開館（20:00まで）

※入場は閉館の30分前まで

会場：兵庫県立美術館 常設展示室（1階・2階）

主催：兵庫県立美術館

観覧料

観覧料	当日	団体	セット
一般	500円	400円	300円
大学生	400円	320円	240円
高校生	250円	200円	150円
中学生	無料		

団体料金……20名以上の料金

セット料金……特別展とのセット割引料金

※65歳以上は一般料金の半額

※障がいのある方とその介護の方1名は各観覧料金の半額



〈小企画〉 奥田善巳展

展示室 1

一昨年に逝去された奥田善巳（おくだ・よしみ 1931～2011）は、長く兵庫県を拠点にして、日本の現代美術史に名を残す重要な展覧会、ムーブメントに参加してきました。

奥田は、立体作品などにもその才能を発揮していますが、活動の中心は絵画でした。1960年代の、ものの不在を表現する絵画、1970年代における概念性を帯びた作品、そして、それ以後の線描のみによる絵画と、時代の潮流に応じながらも、その中で自己の表現を追求してきました。それらは、シンプルな中に豊穡さを湛えています。

その表現世界を、1960年代から2000年代までの主な作品20点によって回顧します。

奥田善巳 Okuda Yoshimi (1931-2011)

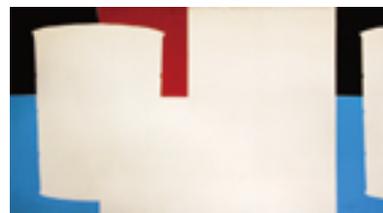
- 1931年 京都府生まれ
- 1963年 第15回読売アンデパンダン展（東京都美術館）
- 1964年 個展（新光ギャラリー、神戸）以後個展多数
- 1965年 京都アンデパンダン展（京都市美術館）85年まで参加
グループ<位>結成 67年まで参加
- 1967年 国際青年美術家展で日本文化フォーラム賞受賞
- 1968年 中原佑介・石子順造企画「トリックス・アンド・ヴィジョン」展
- 1969年 「'69現代美術の動向」（京都国立近代美術館）
- 1971年 第2回現代国際彫刻展（箱根彫刻の森美術館、神奈川）コンクール大賞受賞
- 1972年 第1回京都ビエンナーレ（京都市美術館）
- 1978年 「アート・ナウ'78」（兵庫県立近代美術館）
- 1984年 個展（大阪府立現代美術センター）
- 1990年 「'90兵庫の美術家」（兵庫県立近代美術館）'92、'96も
- 1992年 「いま絵画は－OSAKA'92」（大阪府立現代美術センター）
- 1996年 「21世紀への予感 日本現代美術50人展」（ナビオ美術館、大阪）
- 2009年 神戸ビエンナーレ2009 招待作家展「しなやかな逸脱」（兵庫県立美術館）
- 2010年 個展（トアロード画廊、神戸）
- 2011年 逝去

Okuda Yoshimi

奥田善巳展



1.奥田善巳
 《CO-684》
 1992年
 兵庫県立美術館蔵
 ※表紙と同画像



2.奥田善巳
 《ネガへの挑発》
 1967年
 トアロード画廊蔵
 （兵庫県立美術館 寄託）



3.奥田善巳
 《数字3》
 1969年
 西宮市大谷記念美術館蔵

協力：トアロード画廊

〈特集〉 コレクション名品選 美術の始まるころ

本展は、作家が作品をつくる動機に焦点を当てます。「人生を愛でる」「新たな道を求めて」「社会の中の芸術家」「内なる世界へ」という4つの視点を設けて、身近なものに抱く親愛の情、つくり手としての探求心、社会における芸術家のあり方、そして自己と向き合う芸術家の深層にせまるような作品を展示します。創作する行為の豊かさ・多様さに、ぜひ目を向けてみてください。

展示室2

「人生を愛でる」

芸術家をとりまく家族、愛らしいもの、故郷、そして特別な場所

身近な人々や、住み慣れた土地に魅せられて、愛情を感じたり、心通わせたり。そうしたものを自分の手の中に治めておきたい、再現することで留めたい、永遠のものとしたい。芸術家のみならず、私たちの人生においても、このような欲求を抱く瞬間はしばしば訪れるのではないのでしょうか。人にとって自然な感覚ともいえるところから生まれた芸術。それは見る側の私達にとっても、親近感を持つような作品となるのかもしれませんが。

展示室3北

「新たな道を求めて」

つくること、表現することを探求し、独自の表現を生む

作品を作るには、さまざまな方法があります。カンヴァス、絵の具、筆といった従来から使われてきた道具で、いかに自分なりの新たな表現を生み出すのか。または、全く新しい素材や手法を取り入れるのか。創造の行為そのものに魅了され、追求していった芸術家の奮闘の跡とその成果を見てみましょう。



5.青山熊治
 《幼児画像》
 1931年



6.国枝金三
 《せつ代像》
 1927年



8.嶋本昭三
 《作品》
 1961年



9.斎藤義重
 《作品3》
 1960年

展示室3南

「社会の中の芸術家」

芸術家は何をみて、いかに反応したか

芸術と私たちの日常はどのように結びついているのでしょうか。街で目にするデザイン、公共の場所に設置してある彫刻作品もその一例でしょう。近頃では、都市型芸術祭として街中に作品を出現させる試みも盛んになっています。芸術は、美術館やギャラリーを出て、より積極的に私たちの暮らしの中へと浸透してきています。ここでは、芸術家が自分自身の方法で社会と関わり、積極的に参加していく例を取り上げ、芸術の多様な可能性について考えてみたいと思います。

展示室4

「内なる世界へ」

自分自身と向き合い、心の中をさらけ出す

時として芸術家は自分自身の内面へ目を向け、精神の中へと奥深く入り込み、そこから取り出してきた彼らだけの世界をあらわにします。そこには、見たことも想像したこともないものが現れるかもしれません。未知の領域に踏み込んだとき、私たちはどのように感じるのでしょうか。驚き？疑問？あるいは、心の奥深くをゆさぶるような感覚？自らを曝け出した芸術家と作品を通じて対話する、そんな贅沢で豊かな時を楽しんでみてください。



11. ヤノベケンジ
《FERRIS WHEEL》(部分)
2007年



13. エゴン・シーレ
《自画像》
1914年



14. ヴォルス
銅版画集『ヴォルス』より
1962年出版



展示室5

20世紀の彫刻／安藤忠雄コーナー

当館の収集の柱のひとつである彫刻から、人の姿を抽象的に表したもののなど、20世紀の彫刻の多様な表現を紹介します。

また当館の設計者である建築家・安藤忠雄の関西でのプロジェクトを模型、写真、映像などで紹介するコーナーを併設します。

小磯良平記念室

神戸生まれの小磯良平(1903-1988)は、近代洋画を代表する巨匠のひとつです。確かなデッサン力に裏打ちされた気品あふれる婦人像は、現在も高い人気を誇っています。今回は、《肖像》、《斉唱》といった当館が所蔵する代表作に加え、近年新たに寄託を受けた《踊り子》もご覧いただけます。

金山平三記念室

神戸生まれの金山平三(1883-1964)は、風景画の名手として知られる近代洋画の巨匠です。落ち着いた色づかいと巧みな筆さばきによって、信州や東北など日本各地の風景を情感豊かに描き出しました。この記念室では、《大石田の最上川》をはじめとする代表作を選び出し、金山の画業を紹介しています。

展示室6

日本の近現代絵画

当館が所蔵する近現代の絵画から、代表的な作品を展示します。

文明開化から間もない明治期に描かれた、本多錦吉郎による《羽衣天女》にはじまり、安井曾太郎、小出楯重や林重義らの大正から昭和にかけての名品を出品します。また、戦後の時代からは、抽象絵画のパイオニアであるオノサトシノブや、具体美術協会の吉原治良、田中敦子らの実験的な絵画を紹介します。

関連事業

こどものイベント「アートな風をつくってあげよう！」

1月11日(土) 10:30～15:30

アトリエ2にて 要実費 定員30名

要申込：こどものイベント係 TEL 078-262-0908

学芸員によるギャラリートーク

12月14日(土)、2月22日(土)

16:00～(約40分) 参加無料・要観覧券

ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日 13:00～(約45分)

エントランスに集合 参加無料・要観覧券

同時開催の展覧会

昭和モダン 絵画と文学1926-1936

11月2日(土)～12月29日(日)

フルーツ・オブ・パッション

ボンビドゥー・センター・コレクション

1月18日(土)～3月23日(日)

神戸ビエンナーレ2013 横尾忠則 感応する風景

10月1日(火)～12月1日(日)

※神戸ビエンナーレ会期中、神戸ビエンナーレ入場券でコレクション展が無料となります。

チャンネル4 薄白色の余韻 小林且典

11月2日(土)～12月1日(日)

横尾忠則現代美術館での同時開催*

横尾忠則 肖像図鑑

9月28日(土)～2014年1月5日(日)

横尾忠則の「昭和NIPPON」ー反復・連鎖・転移

2014年1月25日(土)～3月30日(日)

※特別展又はコレクション展の有料チケット半券のご提示で、団体割引料金でご覧いただけます。(詳細はHPなどでご確認ください)

小企画 奥田善巳展
特集 コレクション名品選 美術の始まるどころ
広報画像申込書
営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 TEL (078) 262-0905 (直通)

ご希望の画像の番号に をつけてください。後日データ (.jpg) をお送りいたします。

番号	作家名・作品名・制作年・所蔵館など
1 (表紙)	奥田善巳《CO-684》1992年 兵庫県立美術館蔵
2	奥田善巳《ネガへの挑発》1967年 トアロード画廊蔵 (兵庫県立美術館 寄託)
3	奥田善巳《数字3》1969年 西宮市大谷記念美術館蔵
4 (表紙)	金山平三《父の像》1924年
5	青山熊治《幼児画像》1931年
6	国枝金三《せつ代像》1927年
7 (表紙)	白髪一雄《作品 》1958年
8	嶋本昭三《作品》1961年
9	斎藤義重《作品3》1960年
10 (表紙)	ヤノベケンジ《FERRIS WHEEL》2007年
11	ヤノベケンジ《FERRIS WHEEL》(部分) 2007年
12 (表紙)	ジェームズ・アンソール《骸骨としての自画像》1889年
13	エゴン・シーレ《自画像》1914年
14	ヴォルス 銅版画集『ヴォルス』より 1962年出版

上記画像を媒体掲載されるときには、記載の**作家名・作品名・制作年・所蔵館**などを必ず入れてください。
 画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。ご了承ください。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
画像到着希望日			
読者・視聴者プレゼント用招待券 (最大10組20名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限り)	組	名分希望	
メールマガジンをお持ちですか?	はい ・ いいえ		
メーリングリストをお持ちの場合、当館の展覧会・イベント情報等を送信していただく事は可能ですか	可 ・ 不可		

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体 (VTR/DVD) などを、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。
 本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。